

# 庄内町立図書館

## Book Week

10/27(土) → 11/4(日)

# 庄内町の みんなが 選んだ1冊

### ★「あなたが選ぶ 総選挙 1冊でつくる本棚」

おすすめの本をご投票いただき、  
庄内町立図書館オリジナルの選抜  
本棚を作ったこの企画。  
総選挙の結果を発表いたします！  
ご投票者からの熱いコメントも必  
見です。



『命もいらず  
名もいらず』

山本兼一／著  
日本放送出版協会 2010.3

作り話ではなく本当にあった物語りと本  
を読んで行く内に感動しました。



『一路』 上下巻

浅田次郎／著  
中央公論社 2013.2

一所懸命が心にひびく時代小説



『小説上杉鷹山』  
上下巻

童門冬二／著  
学陽書房 1983.6

ケネディ大統領が「最も尊敬する日本人」と語った鷹山の生きざまは政治家として弱者に対する愛と信頼の信念をつらぬいたものだった。

今の政治家に必要なもの（リーダーにも）がここにこめられている。トランプ大統領にも是非読んでもらいたい



『羽越本線の90年』

瀬古龍雄、久保田久雄、  
田宮利雄／監修  
郷土出版社 1997.10

むかしの列車が、のっているから鉄道の  
れきしがわかる



## 『かがみの孤城』

辻村深月／著  
ポプラ社 2017.5



## 『鳥に単は似合わない』

阿部智里／著  
文藝春秋 2012.6

はじめの2Pでひきこまれる。最後はちょっとキュンとする。  
マンガ好きにもおススメ。



## 『九十歳。 何がめでたい』

佐藤愛子／著  
小学館 2017.5

「損や苦労はへでもない」と身をもって体験したことが90歳になってもへこたれず笑い飛ばして痛快に生きる愛子さん（作者）に感動！！

笑えて、納得して、考えさせられて、しかもスッキリしますよ。



## 『色彩を持たない 多崎つくると、 彼の巡礼の年』

村上春樹／著  
文藝春秋 2013.4

国外でも翻訳され多くの人から読まれるムラカミハルキ。

現代の複雑な人間社会に生きるみなさんに読んでほしいミステリー。ハルキスト初心者でも読みやすいです。



## 『戦慄の記録 インパール』

NHKスペシャル  
取材班／著  
岩波書店 2018.7

インパール作戦関係者はかなりの高齢者になってしまっており、この本が取材した人々が最後の出征者になると思う。

第3者の立場から、よく調査し、よく取材しており、納得させるものがある。



## 『思考の整理学』

外山滋比古／著  
筑摩書房 1986.4

読んで良かったと一番感じたからです。



## 『下町ロケット』1巻

池井戸潤／著  
小学館 2010.11



## 『最後の晩ごはん』1巻

椹野道流／著  
KADOKAWA 2014.10



## 『ちびまる子ちゃん』 シリーズ

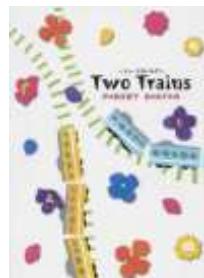
さくらももこ／原作  
金の星社

おもしろいから



## 『ちょんまげ、 ちょうどい』

高橋由太／著  
角川書店 2011.11  
他シリーズ



## 『Two Trains』

魚住直子／著  
あづみ虫／絵  
学研 2007.6

短ペん集が5作あって、ちょっと不思議な友情のお話です。ちょっと不思議なお話がおもしろくて、オススメします。



## 『つるかめ助産院』

小川糸／著  
集英社 2010.12

いつまでも余韻の残る物語でした。



## 『図書館戦争』

有川浩／著  
メディアワークス  
2006.3

ラブストーリーが最高！



## 『ハゲタカ』上下巻

真山仁／著  
講談社 2006.3  
他シリーズ



## 『ハリー・ポッターと 賢者の石』

J.K.ローリング／作,  
松岡佑子／訳  
静山社 1999.12  
他シリーズ

登場人物がいろいろあって、おもしろいし、何冊もあるから。



## 『阪急電車』

有川浩／著  
幻冬舎 2008.1

読後、フーとため息がでて私もがんばろうと思いました。



## 『ハロウィンのランプ』

小林ゆき子／さく・え

岩崎書店 2008.9

女の子とぶつかり、おばけのパーティーで人間とぼれて、ジーナは気げんをわるくします。

### ※ネタバレ注意

この本は学校でランプを作り、サリーのランプがほめられて、ジーナは気げんをわるくします。

ジーナはランプを持って「トリック・オア・トリート」と言って家をまわりましたが、1つもおかしがもらえませんでした。そして

2人でハロウィンのパーティーを楽しんでけんかをしてしまった2人がさいごにはなかなおりをするので、

この本をえらびました。



## 『ホタル帰る』

赤羽礼子・石井宏／著  
草思社 2001.5

死を目前にした特攻隊員に限りない  
よりそいと安らぎを与える食堂のトメ  
に深く感動。

史実だけにぜひ一読をすすめたい



## 『本日は、お日柄もよく』

原田マハ／著  
徳間書店 2013.6

前向きになれる1冊。  
活字が苦手な私にも読めた。



## 『ミルク・ アンド・ハニー』

村山由佳／著  
文藝春秋 2018.5



## 『弥勒の月』

あさのあつこ／著  
光文社 2006.2  
他「弥勒」シリーズ

小暮信次郎と遠野屋清之介  
生きる楽しみと喜びを描く  
はらはらする、時代小説



## 『夜は短し歩けよ乙女』

森見登美彦／著  
角川書店 2006.11

読むと今までよりちょっと生きるのが  
楽しくなります。



## お問い合わせ

図書館・内藤秀因水彩画記念館

43-3039

分館 56-3308

<http://>

[www.town.shonai.lg.jp/library/](http://www.town.shonai.lg.jp/library/)

